

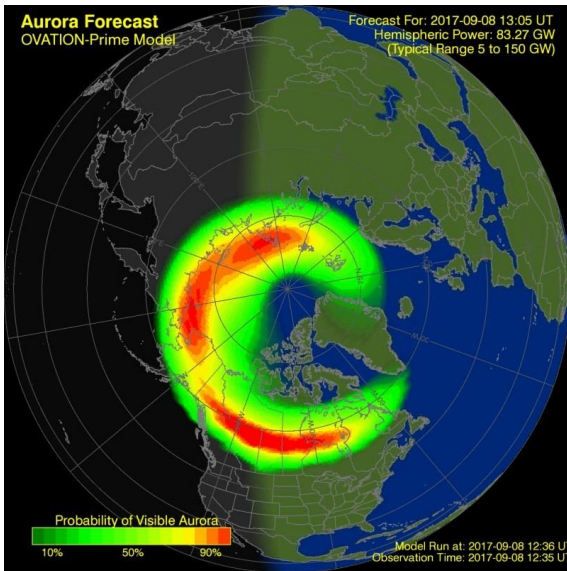
「オーロラの分類(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(4) タイプB・Eのオーロラ

タイプBとタイプEは分類が曖昧で、一くくりに扱ったほうが良いように思う。いずれも、下端が桃色になる、緑色のオーロラである。そのうち、動きが激しいもの(活動的なもの)を特にタイプEと呼んでいる。

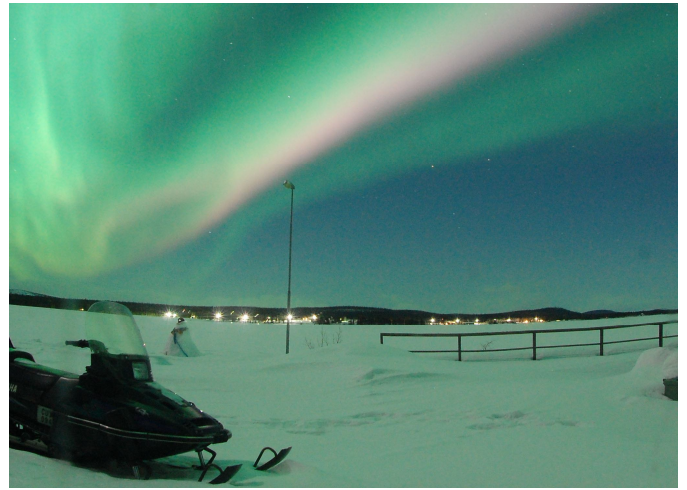
規模の大きい太陽フレア(爆発)が発生すると、数日後に「太陽嵐」が地球に届く。その時、観測地が夜の側にあると「ブレイクアップ」(オーロラ爆発)が発生することが多い。



上図は、北半球のオーロラ・オーバルである。黄色～赤の領域は、非常に強いオーロラが発生している可能性が高い。この日は、アラスカ南部からシベリア北部にかけて、タイプB・Eのオーロラが観測されたと思われる。もう少し南まで広がれば、日本でも見られそうにもみえる。しかし、磁北極(オーロラ・オーバルの中心)は日本から遠い位置にある。日本列島が強いオーロラ帯の下に来ることは、絶対がない。

(5) タイプB・Eのオーロラの見え方

タイプB・Eのオーロラは「オーロラカーテンの下端が赤く見える」と表現される。しかし実際のタイプBのオーロラは「赤」というよりは、「桃色」に近い印象を受ける。実際に写真に撮影しても桃色に写る。この桃色のバンドが比較的静止している状態のものが、タイプBのオーロラである。



Type-B / Mar. 2012 / Porjus Sverige



Type-E / Feb. 2013 / Porjus



Type-E / Jan. 2004 / Abisko Sverige

いずれの写真もオーロラ下端が桃色に染まっている。上の一枚は、桃色の帯は非常に明るい、緑色のバンド・オーロラの動きとほとんど変わらず、ごく静かに揺らめいている感じだった。しかし、下の2枚は、その桃色部分が非常に激しく動いている様子を観察できた。その動き(活動度)から、タイプEと判定できる。